



講師
米 美知子先生

『しっかりした作品づくりを行ううえで
モニター選びはとて大切ですよ』

いわずと知れた人気写真家。多くの媒体で活躍する一方、
写真愛好家への指導も精力的に行っている。

EIZO セミナー × フォトコン in 東京



モニター表示とプリント結果が違っていると悩んでいませんか？
そんな悩みを解決すべく米 美知子さんを講師に迎えセミナーを開催。
モニターといってもその種類はさまざま。すべてのモニターが
写真に適しているわけではないのです！

協力:EIZO
参加:写団講師 / 米 美知子写真教室

“写真用”モニターと “普通”のモニター、何が違うの？

3 プリントをする



キヤノンPIXUS PRO-10
写真作品専用設計のPIXUS Proシ
リーズ。10色インク(顔料インク+ク
ロマオプティマイザー)を搭載。



エプソンPX-5V

作品づくりのための本格モデル。豊かな
階調をつくる3つのブラックインクを搭載。



●今回はキヤノンPIXUS PRO-10とエプソンPX-5V
を使用。プリント結果を見
てみると、モニター表示とほ
ぼ同じ結果に。これなら色
が違っても何度もプリントす
る必要はありません。効率的
に楽しく作品づくりが行え
ます。



2 レタッチを行う

環境整備も大切
正しい色を確認す
るためには環境光
を整備することも
大切です。そこで
おすすめなのが
5000Kの高演色
蛍光灯スタンド。プリ
ントは常に同じ条
件下で確認するよ
うにしましょう。



●モニターの色が正確なのでレ
タッチも簡単。調整が正しく反映
されることで仕上がりがイメージをつ
かみやすく、プリントするまでわか
らないというようなストレスから解
放してくれます。



カラーマッピングに適
した蛍光灯スタンド
EIZOアクセサリ
Z-208-EIZO
価格:14,800円

実際に使ってみよう!



使用モニター
24.1型
ColorEdge
CX240-CNX
(専用センサー、専用ソフト
ColorNavigator付属)

広い色域 (Adobe RGB) を
表現可能
滑らかな階調表現
表示ムラが出にくい
簡単表示調整
参考価格:104,800円

1 モニター表示を調整する



●レタッチを始める前に行う必要があるのが、モニター表示の調整
(キャリブレーション)。ここではCX240-CNXに同梱されている専用ソ
フトウェアと専用キャリブレーションセンサー(測色器)を使用します。
●ソフトをパソコンの中にインストールし、立ち上げます。モニターに
センサーを取り付け、後はソフトの指示通りに進めるだけでOK。5分
程度で完了します。
●しかもColorEdgeは一度調整してしまえば自動的に定期的な再調
整をしてくれるので、常に同じ状態を保つことが可能です。

参加者の声

『モニター表示画面が
見やすかったので気持ちよく作業できました』

『モニターの色とプリン
トの色がほとんど同じ
で驚きました』

『モニターの調整作業
も簡単で、一度やれば
後は自動で定期的な
やってくれるという
のがいいですね』



『これまでモニター表示とプリント結果がうまく合
わず悩んでいましたが、今回のセミナーを受けて
スッキリしました』

『以前、別のモニター
についての講習会に参
加したときはあまり理
解できなかったが、今
回、実際に使ってみ
てその良さを実感で
きました』

『プリントとモニター表
示が合致しないのは、
仕方ないと諦めていま
したが、その認識をあ
らためないといいな
いですね』

写真クラブ向けEIZOセミナー実施中

※EIZO社員がモニターとともにクラブへお邪魔してセミナーを
開催します。ただし、今回のような写真家の方が講師を務める
ということはありませんので、ご了承ください。

EIZOでは写真クラブ向けに写真をもっと楽しむためのモニター活用セミナーを無料
で実施しています。希望するクラブは電話で申し込めば、全国の例会会場へEIZOセ
ミナー隊が駆けつけます。ぜひお申し込みください!

詳しくは <http://www.eizo.co.jp/i/photoclub/>
☎03-3547-7718 (EIZOガレリア銀座)

“写真用”モニター

正しい色が表示できる
滑らかな階調が表示できる
画面表示の明るさや色にムラがない
簡単に表示を調整できる

レタッチ

調整が正確に反映されるので、仕上がりがリイメ
ージをつかみやすい

プリント

モニターで表示された写真データとプリント出力
結果がほぼ同じなので何度もレタッチやプリン
トをし直す必要なし

- 作業が効率化するうえ、コストも抑えられる
- 写真がもっと楽しくなる!

“普通”のモニター

正しい色再現や階調表現ができない

レタッチ

そもそも表示されているモニターの色が正確では
ないため、いくらレタッチをしたところで徒労に終
わる可能性大

プリント

モニター表示とプリント結果は大きく異なる。結
果的に何度もプリントをし直すことになるため、
無駄にコストや時間を費やすことに

- モニターとプリント結果が同じに
ならない悪循環に陥ってしまう
- ストレスばかりが溜まっていく



左がEIZOのモニ
ター、右が一般的な
ノートパソコン。色
の表示が大きく異な
るのがわかる。

つまり.....

せっかく最新のカメラ、レンズ、プリンター、レ
タッチソフトをそろえても、モニターが作品づく
りに対応していなければ、納得のいく作品は得ら
れません!